

目的：日本茶の消費量を増やし、生産者の所得を向上させる継続的取り組みの実現



P 4 ～

①-1【現状の把握】 緑茶（リーフ茶）を取り巻く市場環境・課題を知る

P 15 ～

①-2【オケージョンマップの作成】 “広く”緑茶の生活者のニーズを可視化する

P 70 ～

②【ワークショップの実施】 オケージョンマップを元に今後の取り組みを議論

P 97 ～

③【企画の具体化】 データを活用し具体的な企画を実行へ